

ぐるり39

～自治調査会だより～

2025
9

NO. 141 (最終号)

[発行日]
2025.9.1



はけの森美術館・美術の森緑地の中心にある池から湧き出る湧水は、東京の名湧水57選に選ばれています。【写真提供】小金井市 【撮影場所】美術の森緑地

Contents 9月の内容

▶シンポジウムを開催しました！

「デマンド交通は万能か

～あるべき地域の公共交通を考える～」…… 2

▶オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介…… 3

青梅市 おうめ水辺の楽校(がっこう)

府中市 府中環境まつり

檜原村 薪づくり体験

▶多摩交流センターだより

・参加者募集 多摩の歴史講座

「戦時下の素顔を地形図から読み解く」…… 4

・2025年度広域的市民ネットワーク活動支援助成制度

申請団体募集中…… 5

▶「ぐるり39」歴代表紙特集 ～Part2～…… 6

▶多摩・島しょ 散歩deアート ～小金井市～…… 8



◀ 当調査会のホームページに
バックナンバーも掲載して
います。ぜひご覧ください。



◀ 「TAMA ebooks」にも掲載して
いただいています。「ぐるり」で
検索のうえ、ご覧ください。



公益財団法人 Think-tank Tama & Toshio
東京市町村自治調査会

シンポジウムを開催しました！

デマンド交通は万能か ～あるべき地域の公共交通を考える～

【2025年8月1日 府中市市民活動センタープラッツ バルトホール】

当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。今回、昨年度の調査研究の結果を踏まえ、「デマンド交通は万能か～あるべき地域の公共交通を考える～」と題してシンポジウムを開催しました。



デマンド交通とは…

予約する利用者のニーズに応じて運行するバスや乗合タクシー。定時定路線バスと異なり、運行方式やダイヤ、発着地の自由度が高く、様々な運行形態が存在する。

1. 基調講演

はじめに、日本大学理工学部非常勤講師である藤井敬宏氏による基調講演が行われました。デマンド交通はどのような特徴を持った地域であれば利便性と効率性を発揮しうるか、デマンド交通を切り口に地域公共交通はどのようにあるべきかなどについて、ご講演いただきました。

2. 調査研究結果発表

続いて、当調査会の高橋力哉主任から、2024（令和6）年度に実施した「多摩・島しょ地域における持続可能な地域公共交通に関する調査研究」結果について発表を行いました。ここでは、多摩・島しょ地域自治体・住民アンケート結果の概要や、自治体における公共交通の現状と今後の取組の方向性に関する提言を発表しました。

3. パネルディスカッション

続いて、自治体におけるデマンド交通のあり方や地域公共交通の今後について、より理解を深めることを目的に、交通事業者と自治体の現場から3名の方にご登壇いただきました。まず登壇者に各々の取組内容をご紹介いただき、基調講演を行った藤井氏がコーディネーター役となって、パネルディスカッションを行いました。

【第1部：現場から学ぶデマンド交通 ～事業者・自治体の目線から～】

①大新東株式会社 運営企画室 藤代純一氏

「受託事業者から見たコミュニティバス・デマンド交通のこれから」と題して、受託している事例を取り上げながら、コミュニティバスやデマンド交通の特性、デマンド交通の配車システムなどをご紹介いただきました。

②東京都 武蔵村山市 都市整備部 交通企画・モノレール推進課 係長 波多野史明氏

「軌道交通のない武蔵村山市のデマンド交通」と題して、乗合タクシー「むらタク」の取組の概要について、導入経緯、利用状況、導入にあたり検討したことなどをご紹介いただきました。

③静岡県 伊豆の国市 企画財政部 協働まちづくり課 主査 工藤昂光氏

「郊外住宅団地でのデマンド交通による地域の移動手段確保の取組」と題して、予約型乗合タクシーの取組の概要について、導入経緯、利用状況、導入にあたり検討したこと、住民との協定、運行事業者との契約方式などをご紹介いただきました。

【第2部：意見交換 ～デマンド交通は地域公共交通を救うのか？～】

ここまでの講演や取組の紹介を踏まえ、より具体的なポイントを探るべく、意見交換を行いました。

今後の地域公共交通を考える上でのポイント、デマンド交通を積極的に導入すべきか、自治体職員と交通事業者・地域住民とのコミュニケーションの重要性など多岐にわたるテーマで、自治体における地域公共交通のあるべき姿について活発な議論となりました。

また、パネルディスカッションでは事前にいただいた来場者の質問に対し、各登壇者からそれぞれの知見を踏まえてお話いただきました。



▲意見交換の様子



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

かれん



シーナ



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

① 青梅市

親水事業「おうめ水辺の楽校(がっこう)」

青梅市では、市内を流れる多摩川と霞川で、小中学生を対象に親水事業「おうめ水辺の楽校(がっこう)」を開催しています。

市内で親水活動に取り組む4団体と市が協働し、稚鮎の放流、魚のつかみ取り、水辺の生き物調査、魚釣り、炭焼き、ライフジャケット浮力体験、たらい舟での川下りなど、様々なプログラムを実施しています。

川遊びを通じて、自然と環境の大切さを体感することで、子どもたちの豊かな人間性が育まれる事業となるよう取り組んでいます。

【問合せ先】青梅市 環境政策課 TEL 0428-22-1111



▲親水事業の内の1つ「多摩川まるごと遊び塾」飛び込み台に挑戦！



◀ホームページはこちら

青梅市

Tama

② 府中市

府中環境まつり

府中市では、毎年、市民の皆さんが地球温暖化防止や自然保護、ごみ問題など環境について楽しみながら学び、考えてもらうイベントとして府中環境まつりを実施しています。

会場では、市民や事業者、学校などのブースが並び、活動の紹介や身近な自然について遊びながら学べる工作体験のほか、ステージ、クイズラリーなど様々な催しを行っており、2024(令和6)年度は多くの方にご参加いただきました。

2024(令和6)年度より会場を府中駅前のけやき並木通りに移動し、お買い物などの“ついで”に立ち寄っていただけるイベントとして開催しています。今年度も10月5日(日)に開催予定です。

【問合せ先】府中市 環境政策課 TEL 042-335-4196



Tama

府中市

③ 檜原村

薪づくり体験

檜原村では、切捨て間伐材を木質バイオマス燃料として有効活用するため、「檜原村産の薪」の普及に取り組んでおり、年2回「薪づくり体験」を開催しています。

2024(令和6)年度は、地元の林家の山林を散策しながら林業について学び、実際に「斧」を使用した昔ながらの薪割り体験をしました。その後、檜原温泉センター「数馬の湯」に設置された薪ボイラーを見学し、温泉に入って疲れを癒しました。

【問合せ先】檜原村 産業環境課 TEL 042-598-1011



檜原村

Tama



多摩交流センターだより

たましん地域文化財団・
東京市町村自治調査会共催

多摩の歴史講座

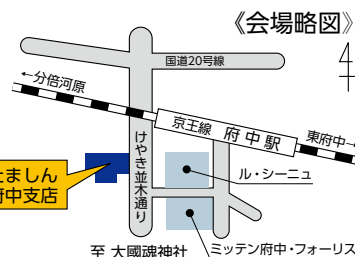
第28回

参加者
募集

戦時下の素顔を 地形図から読み解く

昭和17年から19年にかけて作成された3000分の1地形図「東京西部」の原図が、国土地理院に保管されています。この原図には、同地形図の印刷図集『多摩地形図』(之潮、2004年)で白抜きとなっていた戦時中の軍事施設や、空襲で破壊される前の姿が克明に描かれています。

戦後80年を迎える今年の講座は、3000分の1地形図「東京西部」の原図に注目して、この地形図の成立の背景や当時の多摩地域の景観について、さらには地域史や鉄道史など多角的な視点から読み解きます。



第1講

10月15日(水) 13:30～15:30

戦前に作成された三千分一地形図「東京西部」の全貌

—地図を通じた記憶の継承を— 講師：石川 弘美氏(国土地理院地理空間情報部情報サービス課指導員)

第2講

10月29日(水) 13:30～15:30

大日本帝国陸地測量部と3000分の1地形図「東京西部」

講師：大木 章一氏(国土交通省国土地理院元院長)

第3講

11月12日(水) 13:30～15:30

昭和期の地図と東京の大縮尺地図 講師：芳賀 啓氏(元東京経済大学客員教授)

※講義中に「1953年 東京都3000分の1地形図」(22点、講師所蔵)を展示します。

第4講

11月26日(水) 13:30～15:30

3000分の1地形図「東京西部」にみる多摩の鉄道

講師：今尾 恵介氏((一財)日本地図センター客員研究員)

第5講

12月10日(水) 13:30～15:30

戦災直前の八王子を3000分の1地形図「東京西部」から読み解く

—街並み、織物工場、田町遊郭など— 講師：齊藤 勉氏(多摩地域の戦時下資料研究会)

◆場 所 多摩信用金庫府中支店4F会議室(京王線府中駅南口2分)

◆参加費 無 料

◆申込方法 **【はがきによる申込み】** 記入例を参考に通常はがきでお申込みください(1人1枚)
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係

◆申込締切 2025年10月3日(金) 必着

◆定 員 90名 ※後日受講証(はがき)をお送りします。
定員を超えた場合は10月6日(月)に抽選を行い、
当落結果(当選者には受講証)をお送りします。

◆お問い合わせ 《講座内容について》たましん地域文化財団 TEL 042-574-1360
《お申込みについて》多摩交流センター TEL 042-335-0100

★本講座のオンライン配信

講座終了後、講演内容を編集し「多摩の歴史講座ONLINE」を配信する予定です。

はがき記入例

表面	裏面
85円 183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F 多摩交流センター内 「多摩の歴史講座」係	●多摩の歴史講座 受講希望 ①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③年齢・性別 ④電話番号



申込み
フォーム▶

～活動支援助成制度を活用して広域的な市民活動を始めてみませんか？～

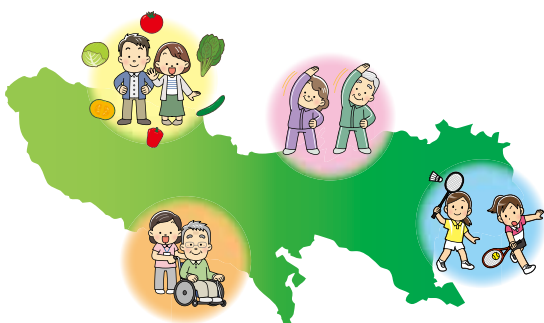
募集中

2025年度 広域的市民ネットワーク 活動支援助成制度申請団体

当調査会では、東京都内において、市町村の枠を越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなることを目的とした助成事業を行っています。

日頃から行われている広域的な活動や成果発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、広域的な市町村のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

活動支援助成制度とは？



1 対象となる活動

東京都内において、①市町村で活動する市民団体が、市町村別に活動拠点を異にする団体と連携して行う活動、または、②活動対象地域が2以上の市町村にわたる活動

2 助成率及び金額

- ・助成対象事業費の60%（30万円が限度）
- ・助成期間は、連続する3年度の間で2回まで（ただし、1年度間で1回の支援が限度）

申請の主な要件は？

1 支援の対象となる主な要件

- ・市町村で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとの意向のある団体で、自立を目指していること。
 - ・本拠地が原則として市町村にあること。
- ※既に自立的な活動を継続して行っている団体、過去に当調査会の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です。

2 支援対象となる主な活動（事業）要件

- ・市町村の広域的な課題を活動テーマとしていること。
 - ・市町村の住民誰もが参加できる事業であること。
 - ・団体が主体的、創造的に取り組む事業であること。
 - ・成果発表等の事業であり、日常的な事業ではないこと。
- ※そのほかにも申請に当たっての要件がありますので、下記の方法で制度の詳細をご確認ください。

制度の詳細は、当調査会で配布している「2025年度広域的市民ネットワーク活動支援助成制度【活動支援】の手引き」、または、当調査会のホームページ（<https://www.tama-100.or.jp>）をご覧ください。「手引き」はホームページ内でダウンロードできます。

ご申請いただく場合は、事前に当調査会との相談が必要となります。事業実施の2カ月以上前までにご連絡ください。 ※この制度は、当調査会の2025年度予算の範囲内での実施になります。

問合せ先

（公財）東京市町村自治調査会 企画課

東京都府中市新町 2-77-1 TEL 042-382-7781 受付時間：平日 9:00～17:00

「多摩交流センターだより」の問合せ先

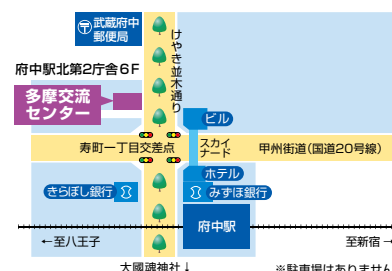
（公財）東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎 6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>（当調査会ホームページ内にコンテンツがあります）

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



ぐるり39 歴代表紙特集 ～Part2～

前号・6月号に引き続き、今回もこれまで発行してきた号の表紙をご覧ください。私たちの街にある四季折々の景色をぜひお楽しみください。



※当調査会ホームページにてバックナンバーをご覧ください▶

2020年11月～2022年11月



2022年12月～2025年6月



『ぐるり39～自治調査会だより～』は本号をもちまして最終号となります。これまでご愛読いただき、ありがとうございました。



散歩で訪ねたい身近な芸術・文化スポットのプチ情報をお届け！
今回はわたげのボクが「市立はけの森美術館」を紹介するよ。

小金井市立はけの森美術館

市立はけの森美術館は、洋画家中村研一の作品を紹介する所蔵作品展のほか、美術館の企画による特別展を年間1～2回開催しているよ。市民参加・参画型の美術館として教育プログラムを充実させていて、市民の芸術文化活動の拠り所となっているんだ。

また、美術館一带の「はけの小路」や「美術の森」にある水源など、周辺では恵まれた自然を十分に満喫できるよ。小説やアニメーション映画の舞台のイメージにもなっているんだって。



▲はけの小路



▲内観



▲外観

【基本情報】

- ・入館料：一般 200円 小・中学生 100円 未就学児 無料
※企画展はその都度設定
障害者手帳をお持ちの方および付添者1名 無料
- ・開館時間：10:00～16:30(入館は16:00まで)
- ・閉館日：月曜日・火曜日(休日の場合は翌日)
年末年始、展示替え期間

【現地案内】

- ・JR中央線武蔵小金井駅から徒歩15分
- ・CoCoバスミニ野川・七軒家循環
「はけの森美術館」下車



【情報・写真提供】小金井市コミュニティ文化課 042-387-9923